

1 大災害機能モード搭載

- 大災害時に迅速で効率的な指令・対応を実現、緊急度の高い事案を明確化し、よりの確な対応を行います。
- 通常時とは異なる特別な運用体制で、多くの救助要請や状況情報を集約・分析しながら、効果的に消防隊を出勤させます。



2 車両端末装置AVM(高性能ナビ機能)

- リアルタイムで車両の位置や出勤状態を把握し、消防車両が最短ルートで現場に到着できるようナビゲートします。
- 活動中の災害で他の車両の位置情報や活動状況を共有でき、効率的な対応につながります。



3 Googleマップとの連携

- 通報者の位置情報から「Googleマップ」や「ストリートビュー」と連携して現場確認をサポートします。
- 指令システムと連動して、災害現場付近を360度表示し、活動上の問題点を事前に把握することが可能です。



4 Live119・Net119との連携

- 災害現場からの映像を送信できる「Live119」、聴覚や発話に障がいのある人のための「Net119」との連携がワンタッチで可能になり、現場状況の把握と共有がスムーズになりました。



市消防本部では「誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ」を目指し、より効率的に消防や救急の活動を行えるよう、防衛省の補助金を活用し、最新のIT技術を取り入れた消防指令システムを導入しました。皆さんの安全を守るため、進化した新消防指令システムを紹介します。

問い合わせ

消防本部消防指令センター ☎20・1119

新指令システムの主なポイント

出動車両への情報提供が大幅に強化

指令台タッチパネルの電子メモ転送機能により、119通報の内容を文字や画像で出動車両のモニターへ即時送信できるようになり、素早い情報伝達を実現しました。

災害現場での情報共有

大規模災害発生時には市役所の災害対策本部と連携し、出勤状況や災害の発生場所をリアルタイムで共有することで、効率的な災害対応が可能です。

ITを駆使した情報収集

消防車や救急車に高性能ナビゲーションシステムを装備し、災害現場への迅速な対応が可能となりました。それにより、現場での対応能力も大幅に向上しました。

消防本部からの お知らせ

急な病気やケガをしたときに「救急車を呼んだ方がいいか」「今すぐに病院に行った方がいいか」などを医師や看護師に電話で相談できます。



2月1日から一斉にスタートしています。

運用開始!

特集
高機能消防指令システム